

米国株下落、米景気減速・インフレ加速の兆候を嫌気

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	4月25日	4月24日	前日差
日本	日経平均株価(円)	37,628.48	38,460.08	-831.60
	-CME日経平均先物(円)	37,665.00	38,185.00	-520.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,663.53	2,710.73	-47.20
	参考)東証REIT指数	1,797.75	1,800.50	-2.75
米国	NYダウ(米ドル)	38,085.80	38,460.92	-375.12
	S&P500	5,048.42	5,071.63	-23.21
	-S&P500配当貴族指数	4,387.21	4,413.33	-26.12
	ナスダック総合指数	15,611.76	15,712.75	-100.99
ドイツ	DAX®指数	17,917.28	18,088.70	-171.42
英国	FTSE100指数	8,078.86	8,040.38	38.48
豪州	S&P/ASX200指数	休場	7,683.00	-
中国	上海総合指数	3,052.90	3,044.82	8.08
香港	ハンセン指数	17,284.54	17,201.27	83.27
インド	S&P BSE SENSEX指数	74,339.44	73,852.94	486.50
ブラジル	ボベスパ指数	124,645.58	124,740.69	-95.11
先進国	MSCI WORLD	3,306.68	3,323.29	-16.61
新興国	MSCI EM	1,028.61	1,034.69	-6.08
商品	(単位:米ドル)	4月25日	4月24日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	83.57	82.81	0.76
金	COMEX先物(期近物)	2,330.30	2,326.00	4.30
10年国債利回り	(単位:%)	4月25日	4月24日	前日差
日本		0.894	0.889	0.005
米国		4.704	4.648	0.056
ドイツ		2.624	2.586	0.038
オーストラリア		休場	4.400	-
為替(対円)	(単位:円)	4月25日	4月24日	前日比%
米ドル		155.65	155.34	0.20
ユーロ		167.00	166.19	0.49
英ポンド		194.76	193.57	0.61
カナダドル		113.96	113.33	0.56
オーストラリア(豪)ドル		101.44	100.92	0.52
NZ(ニュージーランド)ドル		92.57	92.19	0.41
シンガポールドル		114.52	114.03	0.44
中国人民元		21.497	21.438	0.28
インドルピー		1.8681	1.8641	0.21
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9614	0.9613	0.01
メキシコペソ		9.039	9.090	▲0.56
ブラジルリアル		30.158	30.171	▲0.04
トルコリラ		4.786	4.773	0.27
ロシアルーブル		1.6877	1.6829	0.29

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。

MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。

WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で

取引される米国の代表的な原油先物。

COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。

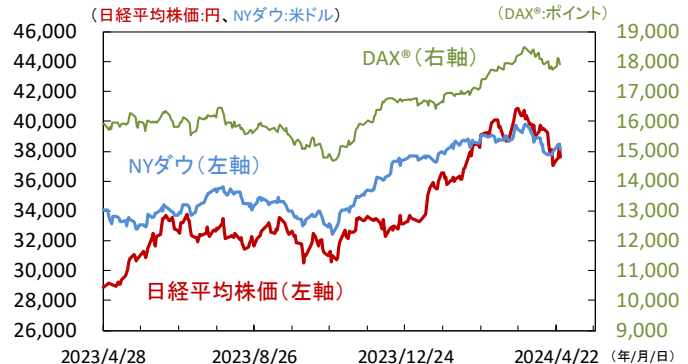
表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。

前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。

本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年4月25日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

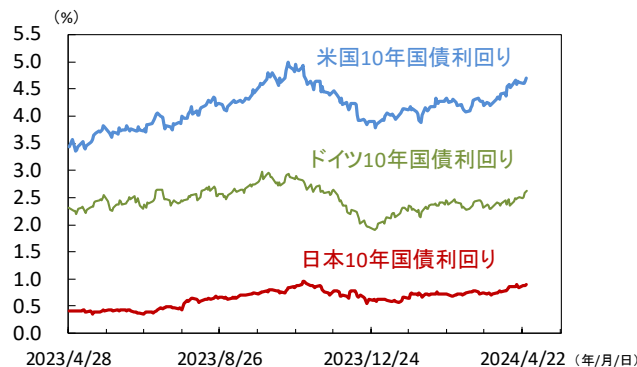
- 日本株は大幅反落。米メタ・プラットフォームズ決算で売上高見通しが予想を下回り、米国株が時間外取引で大幅安となり嫌気。円相場は1米ドル155円台後半まで円安進行も、円買い介入への警戒感もあり一進一退。
- 米国株下落。1-3月期実質GDPが昨年10-12月期:前期比年率+3.4%→+1.6%へ減速かつ予想+2.4%を下回る一方、インフレ指標の個人消費支出(PCE)デフレーターは総合が同+1.8%→+3.4%、食品・エネルギー除くコアが同+2.0%→+3.7%と加速。景気・物価安定の楽観論後退。
- 米1-3月期企業決算はまちまち。AI需要を背景にクラウド事業が好調なマイクロソフトとアルファベットは予想上回る増収増益。アルファベットは創業以来初の配当実施。一方、IBMや建設機械キャタピラーは低調。
- トルコ中銀は主要政策金利を50.0%で据え置き。5月にインフレ率がピークを打つと予測し利上げ休止示唆。

◆本日の注目点:

日銀は賃金・物価の好循環に自信見せるか?

日銀が金融政策決定会合結果と経済・物価情勢の展望(展望レポート)を公表。注目は消費者物価総合(生鮮除く)前年比の政策委員見通しで中央値(前回1月時点は2024年度:+2.4%、2025年度:+1.8%)の引き上げや、新たに発表される2026年度見通しが+2.0%程度となれば、追加利上げ観測で国内金利上昇・円安一服も。(瀧澤)

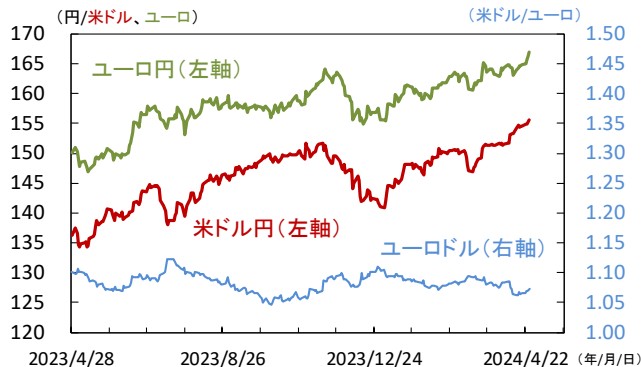
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年4月25日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年4月25日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会